

自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

- ・コロナ対策としてアルコール消毒や念入りな清掃、整理整頓を心掛けている。
- ・人数配置やシフト、活動計画については概ね高い評価となっている。

B利用者への支援内容

- ・学習や余暇活動に関して一人ひとりのニーズに合った支援ができています。
- ・コロナによる制限はあるがカフェはリラックスして過ごせる場になっている。

C関係機関との連携

- ・必要な利用者には、学校や他機関との連携ができています。そのため、情報を保護者と十分に共有できていると感じています。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・学習・余暇活動の報告を必要に応じて行い、その際に要望や悩みなども聞くことで支援に活かしている。

E非常時対応

- ・個人情報や管理や虐待・アレルギーに関しては特に気を付けて支援している。
- ・避難方法の習得や避難場所の確認、必要な用具の準備など行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・教室の清掃状況も良く、整理整頓され、気持ちのよい環境になっている。
- ・他の利用者との関係は概ね配慮されていると感じている。

B利用者への支援内容

- ・学習・余暇支援ともに利用者や保護者のニーズに応えられている。
- ・保護者面談や学習報告など、スタッフからの報告に関する評価は高い。

C関係機関との連携

- ・学校等との連携ができていますと感じている保護者が少ない。

D事業所からの情報発信

- ・保護者対象の講演会や学習会等についての満足度があまり高くない。
- ・HPやブログ、FBなどの利用はそれほど多くない。

E非常時対応

- ・避難訓練が周知されている。
- ・雪の日やコロナ対応などについて、非常時における注意喚起や連絡等が、速やかに行われていると感じている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・清潔で整った環境の中、スタッフや利用者の配置についても配慮がされている。
- ・学習・余暇ともにニーズに応えている支援が保護者にも受け入れられている。
- ・利用者とスタッフ間の面談や学習報告など、直接関わる支援はよくできている。
- ・安全に関する項目については、概ね評価が高かった。

【相違点】

- ・コロナ禍で、カフェでの飲食や遊びで利用制限がある中、可能な範囲での支援を行っている状況を保護者に直接見ていただけないこともあり、良し悪しの評価ができない。
- ・学校や関係機関との連携について、必要な利用者に対しては十分対応していると考えられるスタッフが多いが、利用者から見ると、コロナの影響もあるため、昨年度同様の会議が持てないことで評価が低くなっている。

分析・検証してみて

事業所の強み

- ・利用者のニーズに合わせ学習・余暇支援内容を考え1対1の個別学習を行う。
- ・各学年・教科に対応できるスタッフがいて、それぞれの力を発揮することができる。
- ・カフェコーナーがあること。
- ・レクタス相談支援室があること。
- ・習字・パソコン教室の充実
- ・自立通所ができる立地場所。

事業所の改善点

- ・コロナ禍で、学校や関係機関との連携はとても難しいが、できうる方法で情報が交換できるようにしていきたい。
- ・待機者がとても多数のため、少しでも早くその子に合った利用に結びつくように考えていく。
- ・カフェ利用時の様々な楽しみは、可能な範囲でできることを増やしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・学校や関係機関との連携を充実させるためには、レクタス相談支援室の活用を今まで以上に進めていくようにする。
- ・多数いる待機者へは、レクタス相談支援室や他事業所の紹介などを通して、ニーズに合った事業所が見つかるように支援する。
- ・カフェでの感染予防は、感染状況に合わせて流動的に対応していく。利用者、保護者ともにご理解とご協力いただけるようお願いし、その上で充実した時間が持てるように活動していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年も、昨年に続きコロナ対応に追われた1年間であった。感染予防の対応に慣れたとはいえ、感染者への対応などで配慮が必要なこともあり、気が抜けなかった。評価の内容を見ると、コロナの影響があったのではないと思われる項目もたくさんある。コロナ対応では、こちらから保護者へお願いすることもたくさんあり、保護者とともに切り抜けてきたという感謝の気持ちである。今後も保護者とはこのような良好な関係を続けて行くことができるようにしていきたい。そのためには、スタッフ一人ひとりが常に利用者や保護者を思い、より良い支援ができる事業所であるように心掛けていきたい。

事業所名 レクタス放課後等デイサービス 都筑ふれあいの丘教室

担当者 松田 いづみ